

不動院寺報

不動院と檀家と

第6号 令和4年7月
 発行人 住職 片岡卓治
 編集人 総代長 鈴木裕士

住職挨拶

「不動院と檀家と」も今回で第六号を数えるに至りました。檀家様より、毎回楽しみにしておられるとお話を伺うと、嬉しい限りでございます。

さて、毎年八月に実施しております、お施餓鬼会ですが、ここ二年間はコロナ禍により、総代のみ参加で行なつてまいりました。まだ、完全に収束したとはいえませんが社会情勢を鑑みて、今年は感染対策を十分に講じて、実施したいと考えております。

人は生前の行いによって地獄・餓鬼・畜生・修羅・人間・天上のいずれかの世界に赴くといわれています。この六道のうちの「餓鬼道」に住むのが餓鬼で、常に飢えて食べ物を得られない者を指します。「施餓鬼」とは字の通り、餓鬼に憐みを感じて食べ物を施すという意味で、そこから生じる功德を先祖に回向するのです。このようなことから、先祖の魂をお迎えするお盆の時期に行われるのです。餓鬼に食べ物や物を施すということは、「布施」という仏教の重要な徳を形にして、あの世の先祖を供養するという大切な行いと言えます。

新盆をお迎えする檀家様におかれましては、是非「お施餓鬼会」にご参加いただければと存じます。

三學山 不動院 岩崎寺

《追想 総代 飯田忠司さん 寄稿》

前号に続いて、私が幼いころのお話です。当時は戦後間もなく、全般に貧しい時代でした。このような中、お寺が「里親」をして、多い時で七〜八名の里子を預かっており、私たちの遊び相手になっておりました。また先代のお母さんが保護司をしていたことから、保護観察中と思われるような人が数名居たこともあったように思います。そして同お母さんが女学校教師だったこともあったでしょう、町内の子どもたちを相手に、寺子屋のように本堂で勉強を教え賑わっていました。一方娯楽の乏しい時代、境内では町の青年団等が中心になって、キャンプファイヤー、歌手による歌謡ショー、幻燈や映画の上映それに相撲大会、芝居等が開催され、不動院が娯楽の中心地であり社交場でもあったのでした。中でも特筆すべきは、当時としては画期的と言える、十人位入れるタイル張りの浴場です。美しい築山を眺めながら入浴し、その後客殿二階でくつろぐ年寄りの方たちで賑わい、憩いの場となっていました。今、昔のまま残るのは鐘楼、大銀杏それに裏山の杉木立位で、本堂・客殿が新しくなって一変し、他に誇れる寺院となり喜ばしい限りと思っております。

この人にインタビュー

今回はもつとも長く世話人をされていると思われる中町の平沢一彦さんに登場していただきました。



Q 生まれた年月は？
 A 昭和十八年四月です。
 Q 世話人はいつから？
 A 引き継いだ契機は？
 A いつからかは憶えていません。

祖父（久之助氏・S五十三年九月逝去）の後を引き継ぎました。

（編集人……：少なくとも勤続四十五年です）

Q 世話人としての苦勞は？

A 留守のお宅が多いことですね。

Q これまで一番うれしかったことは？

A 孫の誕生です。

（編集人……：春夏冬 □□五合）

Q 趣味・楽しみは？

A 特にありませんが、強いて言えば、楽しみは晩酌と庭木の手入れです。

（編集人……：お酒の代金はちやんと払っているのでしょうか？）

A 本業は酒屋さんですが、お勧めのお酒（日本酒、洋酒、ワイン等から）五品を挙げてください。

- Q 全て日本酒で、720ml 税込み価格です。
- A 1. 結ゆい特別純米赤磐雄町・1, 760円
 - 2. 口. 渡舟五十五・1, 650円
 - 3. ハ. 黒牛純米酒・1, 348円
 - 4. ニ. 木戸泉報恩謝徳・1, 430円
 - 5. ホ. 上喜元純米吟醸出羽燦燦・1, 568円

（編集人……：酒類のジャンルを問わずどの設問でしたが、拳がった銘柄はすべて日本酒でした。……：日本酒は世界で最も美味しい！?）

不動院ガイド これは何？



高さ7m15cm 直径2m10cm
平成18年9月 先代住職により建立

不動院の山門をくぐると正面に本堂が、そして視線を右に向けると、珍しい形の白い構築物が目に入ります。永代供養塔です。永代供養塔の形はお寺や霊園によって様々ですが、当供養塔は大きさの異なるお椀の上に重ねたような独特の形をしており、仏舍利塔をモデルにしているとのこと。

仏舍利とは仏教の開祖であるお釈迦様の遺骨で、信者によって仏舍利を祀るためストウバ（卒塔婆の語源）と呼ばれる塔を建てました。これが仏舍利塔の原型で、当初はお椀を伏せた形でしたがその後仏教が中国へ渡来してから多層化し、日本の各地に見られる三重の塔や五重の塔は仏舍利塔の一種です。

さて「永代供養塔」とは何でしょうか？

お墓は、それぞれの家によって守り継がれておりますが、場合によっては時には時によって後継ぎが居なかったりあるいは遠隔地に居住したりでお墓の管理や細やかに墓参りが出来なくなること

が生じます。このため、お寺や霊園が遺骨の管理をしてくれるのが「永代供養」という方法であり、その遺骨を収納するモノが「永代供養塔」「永代供養墓」です。また墓地の土地利用料や墓石が不要のため、お墓にかかる費用を抑えたい方にも「永代供養」の方法が重宝がられているとのこと、樹木葬もこの範疇に含まれます。供養塔の中には沢山の骨壺が納められており、いわばお墓のマンションとも言えるでしょう。当不動院においては宗旨・宗派を問わず永代供養料を三〇万円にて三十三年間安置し、期間を経過後は塔内部の納骨堂に合祀することとしています。



納骨堂内部 収容可能数 200 壺
未だ余裕有るとのことです

不動院からのお知らせ

◎昨年十二月発行「不動院と檀家と」にて、長谷寺登嶺団参についてお知らせしましたが、その日程が来年（令和五年）九月に決定したとのこと、詳細は後ほどご案内いたします。

◎ご存じの方も多いと思いますが、当院の御朱印が五月七日付け茨城新聞に掲載されました。以来、県内外からたくさんの方々が、御朱印を求めて来院してくださいました。当院オリ

ジナルの御朱印帳も作成いたしましたので、檀家の皆様も是非お越しください。

◎当院では約四十年近くにわたり、塔婆代を据え置いてまいりましたが諸般の事情により、令和五年四月一日から、値上げさせて頂くことをお知らせいたします。大変心苦しい決断ではありますが、皆様のご理解、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

五尺塔婆 三千元 ↓ 五千元
六尺塔婆 五千元 ↓ 七千元

護寺会費の報告

第三号で、令和二年十一月十五日までの護寺会費の出入金状況と残高をお知らせしましたが、その後の出入金状況と残高を報告いたします。
（令和四年五月末まで）

年月日	項目	受入れ	支払い
R2.11.15	前回報告時残	1,496,645	
R2.12. 8 他	寺報印刷代・3回		123,255
R3. 1.15	護 寺 会 費	1,471,000	
R3. 1.18 他	預金利息・2回	33	
R3. 8.27 他	火災共済・2回		66,700
R3. 9.27 他	建更・2回		1,467,470
R4. 1.11	護 寺 会 費	1,480,000	
R4. 5.31	現 在 残 高	2,790,253	